



教職大学院だより

熊本大学大学院教育学研究科 令和6年1月10日発行

NITS「カリキュラムマネジメント」セミナー開催

1月5日に、NITS・熊本大学教職大学院コラボ研修「カリマネ」で子どもが変わる、教師も育つ、学校が変わる～カリキュラムマネジメントで描く新しい学校のカたち～を熊本大学を会場に開催しました。このセミナーは、毎年P2の現職院生が中心となり、企画・運営を行います。今年度は、カリキュラムマネジメントを現場で広げたいという思いから企画されました。

大阪教育大学大学院の田村知子教授の講演は、「カリキュラムマネジメントに取り組むぞ」という参加者全員のやる気を高め、会場はどんどん熱い空気になっていきました。質疑応答の時間をじっくりとり、参加者から多くの質問が出されました。「新学期から全職員で、楽しみながらカリキュラムマネジメントに取り組みたい」などの感想が聞かれました。カリキュラムマネジメントが広がっていくことが、とても楽しみです。



田村知子先生の講演

教職大学院も連携 Kumamoto Education Week 1月開催



Kumamoto
Education
Week 2024.1.20-28

熊本市教育委員会主催、Kumamoto Education Weekが、1月20日から28日まで開催されます。熊本大学も後援をしており、熊本大学教職大学院主催のプログラムをはじめ、多くの大学の教員や教職大学院生が携わっています。「豊かな人生とよりよい社会を創造するために自ら考え主体的に行動できる人を育む」このことを広く社会と共有し、共に考える9日間です。イベントや講座は、すべて無料で参加することができます。QRコードを読み込み、内容をご確認ください。



P2院生 による 研究紹介

主体的に学び合う 校内研修の場のデザイン

「校内研修」と聞くと、みなさんはどのようなイメージをもちますか？中教審答申では、「主体的・対話的で深い学び」の実現は、児童のみならず教師の学びにも求められている命題であること、教師の姿は児童生徒の重要なロールモデルであることが述べられています。負担感や義務感が強い「校内研修」のイメージを少しでも払拭し、先生同士がもっと交流しやすく、やりがいや有用感を感じられるようになればと、先行研究を参考に様々な取組を行っています。微力ながら先生方のお力になれば幸いです。



(P2松本秀之)

P1院生 による 授業紹介

生徒指導問題解決方法 I

事例検討会が、提供者の実践の善悪を図るような場になっていないでしょうか。本講義では、提供者がエンパワーされ、自分で問題を探る視点を身に付けられる心理成長の部分を基盤にしたPCAGIPという事例検討の方法を学んでいます。参加者がPCAGIPの目的を共有し、90分という時間をかけて行うことで、提供者の自己肯定感を高めることができます。問題を解決するために「何かをする」のではなく、自分や相手への理解を深め「どうある」かを探ることで、自分自身の最適解が見つかるのではないかと思います。変化の激しく正解のない時代だからこそ、検討会の在り方も改めて考えることのできる講義です。(P1山形麻衣子)



(P1山形麻衣子)